

～通知簿の見方～

中学生のみなさん、1 学期間よくがんばりましたね。今回は成績の見方についてです。成績は、高い・低いではなく、自分自身の成長をみることができる大事な機会です。自分自身の学習への取り組み方を振り返って、2 学期の学習に対してどんな目標を持つのか、前向きなリフレクションをして夏休みを迎えましょう！！

各教科 A・B・C・D の 4 観点（学際は 3 観点）で評価されています。各観点は 8 点満点です。

各教科は 1 年間の中で、4 観点すべてが 2 回以上評価されています。（学際単元は除きます）

【例】

A	B	C	D
3	5	4	7



『表 1』をみると、各教科で ABCD が何の評価を示しているのかが分かります。

この例の場合、評点は  $3 + 5 + 4 + 7 = 19$  点です。『表 2』を見ると、MYP の評定は 5、文部科学省の評定は 4 となります。

『表 1』

	A	B	C	D
国語	分析	構成	創作	言語の使用
英語	リスニング	リーディング	スピーキング	ライティング
社会	知識と理解	調査探究	コミュニケーション	批判的思考
理科	知識と理解	探究とデザイン	手法と評価	科学的影響の振り返り
数学	知識と理解	パターンの探究	コミュニケーション	実生活への応用
音楽・美術	調査	発展	創作・実演	評価
保健体育	知識と理解	活動の計画	応用と実践	活動の振り返りと改善
家庭科	探究と分析	アイデアの発展	課題解決	評価
コミュニティ プロジェクト	調査探究	計画	行動	振り返り
学際単元	評価	統合	振り返り	

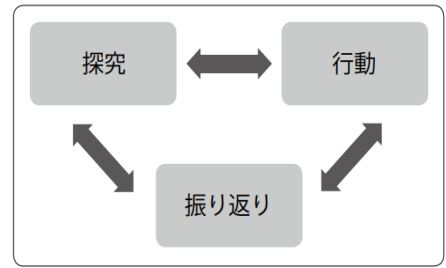
『表 2』

評点 (年度末)	1～5	6～9	10～14	15～18	19～23	24～27	28～32
評定	1	2	3	4	5	6	7
MYP	成果物の質が非常に低い。	成果物の質が低い。	成果物の質が許容範囲である。	成果物の質が良い。	成果物の質が高い。	成果物が時に革新的。	成果物がしばしば革新的。
評定	1	2	3	4	5		
国	一層努力を要する。	努力を要する。	概ね満足できる。	十分満足できる。		十分満足できるものうち、特に程度が高い。	

## 課題返却について

IB の学習では、振り返りをする事は学習サイクルの 3 つの中の 1 つです。

「行動」「探究」「振り返り」のサイクルの中で振り返りをする事は、学習を効率的に管理し、評価するのに役立つ様々なスキルや素質を発達させます。1 学期の総括的評価課題に対して、皆さんはどのような振り返りをしますか？もっと課題を頑張れた、勉強すべきだったと振り返ることと同様に、頑張ったところを自分で認めることも大事です。批判的に分析的に自分の学習を振り返ることで、皆さんの学習経験をより深い理解につなげることができます！



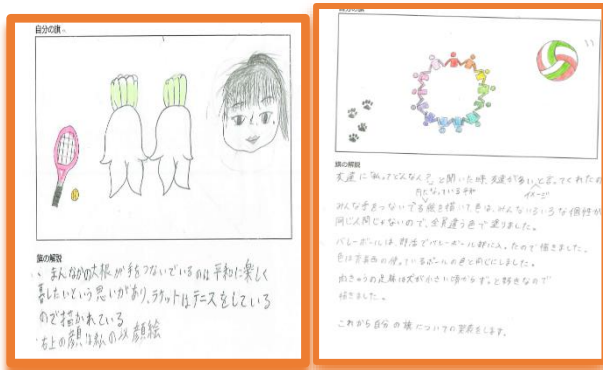
## J1 デザイン 重要概念：コミュニケーション

中学 1 年生の皆さんは、家庭科の授業の中で中学に入学した新しい環境の中で、「自分の着ている衣服によって他者からどのようにみられるのか」を探究してくれました。色や柄を自分で選び自分らしさとは何かを考えることは、自分のアイデンティティを考え他者とのコミュニケーションを考えることにつながりますね。材料も自分たちで用意したことによって、様々な素材から自分の好きなものを選ぶことの楽しさも味わうことができました。

皆さんが自分たちのお気に入りの小物を身に着けることを想像しながら、わくわくしてこの課題に取り組んだ様子が目に浮かぶようです。明るくて、きれいな色合いの作品がたくさん出来上がりましたね。



## J1 個人と社会 重要概念：体系



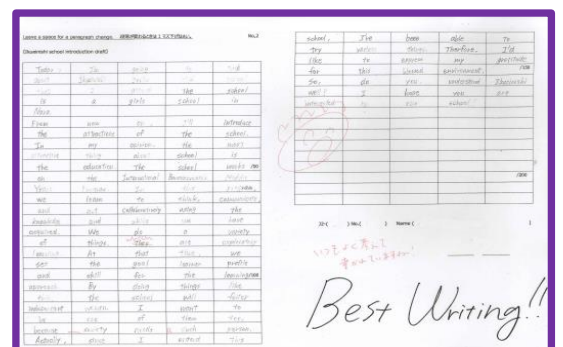
個人と社会の授業の中では、自分のアイデンティティを探究するために、マインドマップを作成して自分のアイデンティティを特定しました。そして総括的評価課題は「自分の旗を作成しよう！」でした。授業では各国の旗にはどのような役割があり、国旗が存在する意味は何かを考えました。国としてのアイデンティティを考えること、自分のアイデンティティを重ねて考えるところが面白い課題でした。IB の社会の授業では、単に事象を覚えるだけでなく自分ごとにつなげて表現するところに授業の特徴があります。



## J2 言語の習得 重要概念：コミュニケーション

今学期の英語の授業は育英西の学校紹介ビデオを作成することを最終目標に授業を進めていきました。今回の重要概念：コミュニケーションはオーディエンスとのコミュニケーションを意味しています。ライティングの総括的評価課題では、そのビデオの原稿を文字で表してもらいました。

他者に伝えたい学校の魅力と思うところは人によってさまざまで、食堂や小講



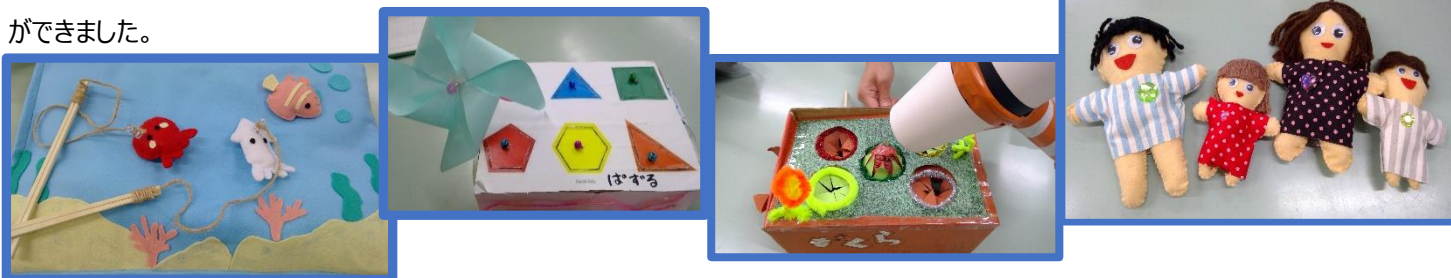
堂などの施設について書いてくれた人、自分のクラブ活動を紹介してくれた人もいました。中でも印象深かったのは、IB 教育について書いてくれた原稿です。今回はその作品の一部を日本語にして訳してご紹介します。

「この学校の一番魅力的なところは教育です。私たちはこの教育の中で、知識やスキルを使いながら考え、協働して学びます。このことが自立女子を育て、社会はそのような人を求めています。私はこの学校に入学して様々なことに挑戦することができています。私はこの環境に対して感謝の気持ちを表したいのです・・・。」

先生たちは生徒の皆さんのこのような気持ちにこたえるためにも、日々教育活動に精進していきたいと思えます！

### J3 デザイン 重要概念：コミュニケーション

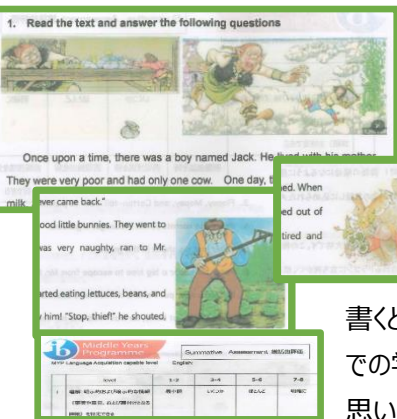
探究のテーマは「言葉に頼らないコミュニケーションは、新たなアイデンティティやものの見方を発見するきっかけとなる」でした。皆さんは言葉や能力の発達に差がある幼児でも遊べるおもちゃを考えて創作してくれました。皆さんの作品の素晴らしさから、他者を理解しようとするやさしさ、思いやりの気持ちが伝わってきます。おもちゃを考えることをきっかけに、立場の違う人への配慮を学ぶことができました。



### J3 言語の習得 重要概念：創造性

3年生の英語の授業は物語を読み、お話を書くというテーマの授業が行われました。「物語を読み、他者と共有すること、そのことによって私たちの時間的・空間的位置をより深く理解する」と

いう探究のテーマに基づいて、ユーチューブを見たり、物語を読んだりしました。英語を使って、普段自分が見ていない世界を探究するという知的な経験ができたと思います。最後の総括的評価課題も、「ピーターラビット」の物語を読み、自分でその続きのストーリーを考えて書くというテストに挑戦してくれました。最初はうまく書くことは難しいと感じたことだと思いますが、今までの学びを生かして、新しい世界を創造する（Creativity）ということはまさに知の冒険の旅だったと思います。「考える人」「探究する人」の学習者像を体現する経験ができましたね。



### 保護者の皆様へ

いつも本校の教育にご支援を賜りありがとうございます。生徒の皆さんは、1 学期の課題に対して力いっぱい取り組んでくれました！それぞれの作品にお子様其々の個性があり、よく考え、よく工夫した後がみられました。人と比べるのではなく、お子様の 1 学期の取り組みを一緒に振り返り、お子様が頑張った取り組みに対しては、惜しみない拍手を送っていただけたらと思います。

さて、夏休みは長いようで短いものです。中学生の多感な時期の夏休みに、お子様にはゲームやスマホばかりではなく、ご家庭でしかできない体験をぜひ一緒にしていただけたらと思います。ご家族の方とお子様とで新しい世界が始まるような、探究の芽を一緒に育むことができれば素敵ですね。暑い中ですが、どうぞお身体にご自愛いただき、2 学期の始業式には元気なお子様を学校に送り出させていただきますようお願いいたします！

